

八尾市教育委員会
人権教育課ニュース
8・9月合併号(第342号)

平成28年(2016年)
八尾市教育委員会人権教育課発行
刊行物番号 H28-20

校園長人権教育研修会を開催いたしました。

7月29日(金)に、校園長人権教育研修会を開催いたしました。

講師として大阪人間科学大学特任教授の須田正信さんをお招きし、「特別支援教育の動向と『合理的配慮』に留意した学校経営の視点」と題してご講演をいただきました。

まず初めに日本におけるインクルーシブ教育について、障がい者の多様な学びの保障や「合理的配慮」によって学校に意識変革がもとめられること、専門性に基づいた「チームとしての学校」での対応が必要であることをお話しいただきました。

また、国連の「障害者権利条約」を日本が批准し、今年4月に「障害者差別解消法」が施行された経緯についても丁寧に説明いただき、具体的に学校において実践されている合理的配慮、ユニバーサルデザインの観点などを写真や絵で提示して説明いただきました。その中で、須田先生はキーワードとして「共に生きる」というフレーズを大切にされていて、何度もご講演の中で出されていました。しかし、「共に生きる」という理念を大切にしながらも、やはり、環境の整備、特にマンパワーの充実が必要であるという課題も示していただきました。

須田先生は大阪府教育センター支援教育研究室長やいくつもの支援学校の校長をされたご経験から、支援教育のことだけでなく、保護者対応等でご苦労されたことも率直にお話しいただき、また、豊富で綿密な資料をご用意いただき、充実した研修となりました。

【コミュニケーションカードより】

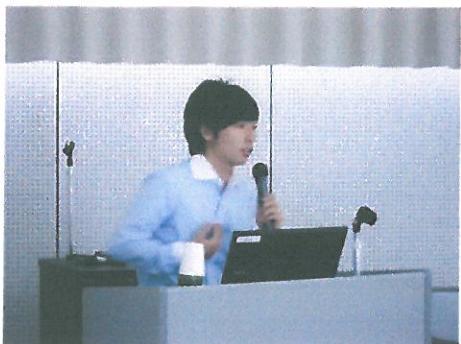
- 学校園の管理職として、障がい児、障がい者に対して、どう考え、学校園において「共に生きる」という思いを、どうマネジメントしていくかということの大切さについて考えさせられました。その中でシステムを理解し、法律を学ぶ中で自園の子どもたちを育てていくことや教職員の育成の大切さと、現実として環境を整えるなどして、共に学ぶ教育を進めていけるように努めていきたいと思いました。
- 特別支援教育についての制度の変遷、障がい観の移り変わりなど、障害者差別解消法が施行されていくまでの背景の流れを聞くことができて参考となった。「合理的配慮」の具体例が学校(自校)においてもできているかどうか検証していく。特に授業のユニバーサルデザインについては教員に改めて周知したいと思った。



教頭人権教育研修会を開催いたしました。

8月25日（木）に、教頭人権教育研修会を開催いたしました。

講師として認定NPO法人国際ビフレンダーズ・大阪自殺防止センター所長の北條達人さんをお招きし、「自殺防止の現状と学校現場でできること」と題してご講演をいただきました。



講演の前半は、自殺の現状について、自殺者数の推移や大阪府の実態などについて、数字やグラフなどの資料を用いてお話しいただきました。1998年以降、年間自殺者が3万人を超え、減少してきたはいるものの、現在でも2万人以上の方が自殺によって亡くなられていること、10歳から14歳までの死亡原因の第2位が自殺であることなどの危機的な状況も教えていただきました。また、そのような状況から自殺対策基本法が制定され、さらに改正後の第17条には学校に対して児童・生徒等の心の健康の保持に係る教育・啓発を行うよう努めることを求めていることも説明いただきました。

次に北條さんが所属されている大阪自殺防止センターの活動についてお話しいただきました。センターの電話相談は毎週金曜日の午後1時から日曜日の午後10時まで24時間体制で電話を受けておられるが、金曜日の午後1時には待っていたかのように相談ブースの電話が鳴りだし、その電話は日曜日の午後10時まで、ほぼ鳴り止むことはないことをお話しいただき、自殺を考えている人のあまりの多さに驚きました。

北條さんは電話相談の経験を通じて、「傾聴」の大切さを何度も訴えておられました。そして、その際大切なことは「その人の気持ちをそのまま無条件で受け入れること」「否定も肯定もしない」「評価しない」「安易な励まし、アドバイス、訓示等はしない」ことの大切さを教えていただきました。

北條さんの冷静で静かな語り口調、その中にある熱い想い、まさに「命」と対峙した豊富な経験を感じさせていただくことができ、今後の「命」の取組みについて想いを新たにできる研修になりました。

【コミュニケーションカードより】

- 相談内容の対応について、他の場面にも通じる大切なポイントをいくつか教えていただきました。「振り返ること」「チームでの対応」この2つが特に心に残りました。また、自分では（相手に話を聞くことについて）「得意だ」という思い込みは大変危険だと感じました。
- 今日は具体的な話を聞いてありがとうございました。学校の中で保護者との対応が多くあります。相談を受けること多くあり、傾聴・受容・共感が大切であることを再確認しました。



<イベント情報> 世界人権宣言パネル展

「一人ひとりの人権が尊重される心豊かなまちづくり」をめざす取り組みのひとつとして、世界人権宣言がうたう基本的人権の意義・重要性について広く啓発をおこなうことを目的として開催されます。

世界人権宣言の条文の展示、差別落書き防止の啓発やぬりえコーナーなど内容が豊富です。

日時：平成28年9月24日（土）10時～17時

場所：アリオ八尾 3階 ブルーコート

主催：八尾市、八尾市教育委員会、世界人権宣言八尾市実行委員会